

目次

はじめに	2
FCC からのお知らせ	2
カナダ DOC からのお知らせ	2
安全のための注意	3
安全上のご注意	4
「安全上のご注意」の絵表示	4
第1章 インストール	7
パッケージ内容	7
LCD モニタとベースの取り付け	7
角度調整	7
LCD モニタをスタンドから取り外す	8
アームアプリケーションのインターフェース	8
ディスプレイをコンピュータに接続する	8
AC 電源の接続	8
オーディオケーブルの接続	9
パワーマネージメントシステム	9
第2章 ディスプレイコントロール	10
一般的な操作	10
フロントパネルコントロール	11
設定の調整方法	12
画像の調整	12
第3章 技術詳細	14
仕様	14
標準的なタイミング表	16
標準的なタイミング表	17
トラブルシューティング	19

はじめに

このマニュアルは、LCDモニタの設定および使用を説明したものです。このマニュアルに含まれる情報をよくお読みになり、正しくお使いください。このマニュアルに掲載されている内容は、予告なく変更する場合があります。また、本誌の内容は著作権法により保護されていますので、製造元への許可なく、本誌を部分的、または全面的に、複製することは禁じられています。

FCC からのお知らせ

この装置は既に FCC 規定第 15 項の Class B デジタル装置としてのテストを受け、その条件を満たしています。これらの条件は、この装置を住宅地域において操作する上で、有害な混信から保護されるよう定められています。この装置はラジオ周波数を発生、使用、放射しますので、マニュアル通り正しくインストールされていない場合は有害なラジオ混信を招く恐れがあります。但し、正しくインストールが行われている場合においても、絶対に有害混信を招かないという保障はありません。この装置がラジオもしくはテレビ受信に対して混信を招き、装置の電源を入れたり切ったりすることで、この装置が原因であることが明らかである場合は、以下のステップに従い、混信の修正を試みてください。

- 受信アンテナを再編成するか、位置を移動してください。
- 本装置と受信機の間隔を広げてください。
- 本装置を、受信機が接続されているものとは別の電源に接続し直してください。
- ラジオ/テレビの専門技師に問い合わせてください。

警告

当製品を I/O デバイスに接続する際には、必ずシールド・シグナル・ケーブルをご利用ください。装置のご利用に対する責任担当の特別な許可が無い限り、製品を分解したり改造したりしないでください。

カナダ DOC からのお知らせ



この Class B デジタルアプリケーションは、カナダ混信装置規定を満たしています。

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

安全のための注意

以下の注意事項をよくお読みください。また、このマニュアルは今後の参照のために保管してください。

1. LCD モニタを掃除するには
 - LCD モニタの電源を切り、AC コードの電源を抜いてください。
 - 溶剤の含まれていない洗剤を柔らかい布にスプレーしてください。
 - しめった柔らかい布で画面を優しく拭いてください。
2. LCD モニタは窓の近くに置かないでください。直射日光や雨、湿気などに当てますと、破損もしくは故障する恐れがあります。
3. LCD 画面に圧力をかけないでください。過重な圧力はディスプレイを傷つける恐れがあります。
4. カバーを取り外したり、内部を修正したりしないでください。修理、はすべて弊社に依頼してください。
5. LCD モニタは温度-20°C~60°C (-4° ~140° F)の場所で保管してください。この範囲以外の場所での保管は、モニタを永久的に破損させる恐れがあります。
6. 次のいずれかの状況が見られる場合は、モニタの電源を切り、弊社にご連絡ください。
 - * モニタから PC へのシグナルケーブルがすり減っていたり、破損している場合。
 - * LCD モニタに液体が流れ込んだり、モニタが雨に濡れた場合。
 - * LCD モニタやケースが破損した場合。
7. モニタを電気コンセントに接続するには、適切なラインが必要です。正常では、6A までの電流でデバイス重量は 3Kg 以上の場合、ラインは H05VV-F、3G、0.75 mm² 以上のものを使用する必要があります。

LCD モニタに関する特別な注意

以下の症状は LCD モニタには正常の状態、故障ではありません。

- 蛍光灯の特性により、初めて使用する場合画面がちらつくことがあります。電源スイッチをオフにしてから再びオンにし、ちらつきが消えることを確認してください。
- 使用するデスクトップのパターンによっては、画面の明るさに多少のむらが出る場合があります。
- LCD 画面は 99.99%以上の有効画素があります。0.01% 以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。
- LCD 画面の特性により、同じ像が何時間も表示されているとき、画像を切り替えた後に前の画面の残像が残っていることがあります。この場合、画像を切り替えたり電源スイッチを数時間オフにすることによって、画面はゆっくりと元の状態に戻ります。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお客様への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。

安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

 警告	<p>この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 注意	<p>この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
 禁止	<p>この記号は、注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。</p> <p>例)  「感電注意」を表す絵表示</p>
 禁止	<p>この記号は禁止の行為（やってはいけないこと）を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。</p> <p>例)  「分解禁止」を表す絵表示</p>
 禁止	<p>この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。</p> <p>例)  「電源プラグを抜く」を表す絵表示</p>

<h2>警告 </h2>	
 厳守	<p>煙がでている、変なにおいがする、変な音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。</p>
 分解禁止	<p>改造・分解はしないでください。お客様による修理は行わないでください。火災や感電、やけど、動作不良の原因となります。</p>
 水濡れ禁止	<p>本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。お風呂場、台所、海岸、水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。</p>

 厳守	<p>本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10 cm 以上の空間を空けてください。</p>
 禁止	<p>本製品は下記のようなところで使用しないでください。故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ほこりの多いところ ●振動や衝撃の加わるところ ●不安定なところ ●温度差の激しいところ ●水分や湿気の多いところ ●湿度が高いところ
 禁止	<p>ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●引っ張ったり、折り曲げたりしない ●圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない ●加工しない ●熱器具のそばで使わない
 禁止	<p>ぶつかけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。</p>
 厳守	<p>電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根元までしっかりさしてください。根元までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。</p> <p>電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行わないでください。濡れた手で行うと感電の原因になります。</p>

 厳守  注意  発火注意	<p>電源ケーブルを取り扱うときは以下のことにご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください。 ●電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。 ●濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないでください。感電の原因となります。 ●電源ケーブルのプラグは根元までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してから行ってください。接触不良で火災の原因となります。
 厳守	<p>液晶パネルが破損した場合は、破損部分に直接素手で触れないでください。もし触れてしまった場合は、手をよく洗ってください。万一、破損部が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。</p>
 厳守	<p>モニタのリサイクルに関するお問い合わせはAcer までお願いいたします。Acer に関するさらに詳しい情報はこちら http://www.acer.com/のホームページをご覧ください。</p>
 厳守	<p>本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。</p>

注意

 注意	<p>長時間に渡って映像を見る場合は、一定の間隔で休憩をとってください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくしてご覧ください。</p>
 注意	<p>液晶モニタ画面表面は擦り傷等がつきやすいので、ペン先や爪等で接触しないように注意してください。</p>
 注意	<p>本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。</p>

第1章 インストール

パッケージ内容

LCD モニタのパッケージを開ける前に、モニタとコンピュータを設置する作業場所を確保してください。安定した広い場所で、壁際のコンセント付近である必要があります。LCD モニタ付近は通気性に優れるよう、十分な領域を用意してください。LCD モニタが使用する電流はごくわずかですが、モニタが加熱しすぎないように、適切な通気が必要です。

LCD モニタのパッケージを開けたら、次のアイテムがすべて含まれているかどうかを確認してください。

- * LCD モニタ
- * チルト台
- * クイック・セットアップガイド
- * モニタから PC VGA へのケーブル
- * モニタ- PC DVI ケーブル(オプション)
- * 電源コード
- * ユーザーズマニュアル
- * ステレオジャックオーディオケーブル

不足アイテムや破損しているものがある場合は、すぐにお買い上げ店までご連絡ください。

LCD モニタとベースの取り付け

1. 梱包から台を取り出し、安定した面（例：デスクまたはテーブル）に置きます。
2. 台の矢印が前の方を向いていることを確認します。
3. 図に示すように、LCD を台の上をしっかり置きます。

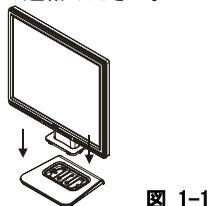


図 1-1

角度調整

LCD モニタはちょうど良い視線角度に調整できるよう設計されています。角度は上下 -5° ~ $+15^{\circ}$ まで調整可能です。

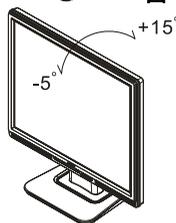


図 1-2

警告:

LCD モニタを無理に最大角度以上に調整しないでください。モニタやモニタスタンドが破損する恐れがあります。

LCD モニタをスタンドから取り外す

ネジを緩め、ベースの支え部分を本体から取り外してください。

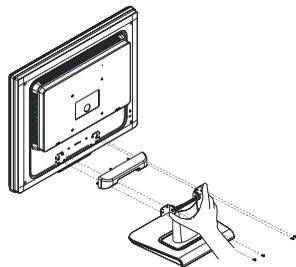


図 1-3

アームアプリケーションのインターフェース

備え付けデバイスを取り付ける前に、図1-3をご覧ください。

LCDパネルの裏面には、4つの4 mm、0.7ピッチの巻ネジがあり、更にプラスチックカバーに4つの5 mmアクセスホールがあります。(図1-4参照)。これらの仕様はVESAフラットパネルモニター取り付けインターフェース標準(段落2.1および2.1.3、バージョン1、1997年11月13日)に符合しています。

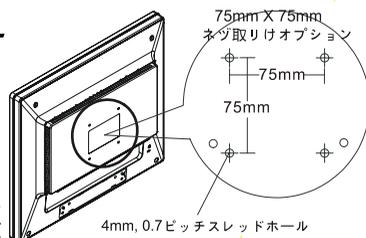


図 1-4

ディスプレイをコンピュータに接続する

1. コンピュータの電源を切ってください。
2. シグナルケーブルの片方を LCD モニタの D-SUB または DVI (オプション) ポートに接続してください(図 1-5 参照)。
3. シグナルケーブルのもう片方を PC の D-SUB または DVI (オプション) ポートに接続してください。
4. どちらもしっかりと接続されていることを確認してください。

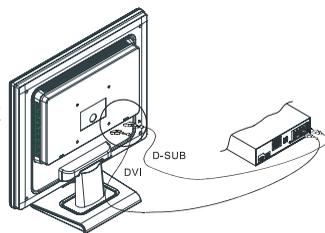


図 1-5

AC 電源の接続

1. 電源コードを AC ソケットに接続してください。(図 1-6 参照)
2. 電源コードをコンセントに接続してください。

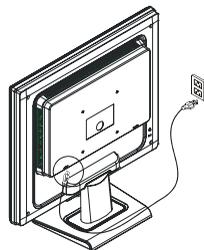


図 1-6

オーディオケーブルの接続

1. オーディオケーブルを PC オーディオカードの“LINE OUT”ジャックに接続するか、または CD-ROM ドライブ前面の“AUDIO OUT”ジャックに接続してください (図 1-7)。
2. オーディオケーブルのもう片端を LCD モニタの“AUDIO IN”ジャックに接続してください。

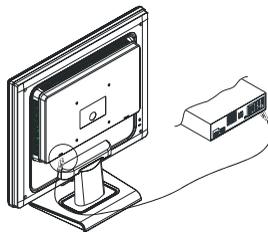


図 1-7

パワーマネージメントシステム

当 LCD モニタは VESA DPMS (バージョン 1.0) パワーマネージメントガイドラインを満たしていません。VESA DPMS は、水平および垂直の同時期シグナルを検出することで、4 つの省電力ステージを提供しています。

LCD モニタが省電力モードにある場合、モニタ画面は消え、LED インジケータが黄色に点灯します。

第2章 ディスプレイコントロール

一般的な操作

電源ボタンを押してモニタの電源をオンまたはオフにします。その他のコントロールボタンは、モニタの上部パネルに配置されています（図 2-1 参照）。設定を変更することにより、画像は各ユーザーのお好みに調整することができます。

- ・ 電源コードを接続します。
- ・ モニタのビデオケーブルをビデオカードに接続します。
- ・ 電源ボタンを押してモニタの電源をオンにします。電源インジケータが点灯します。

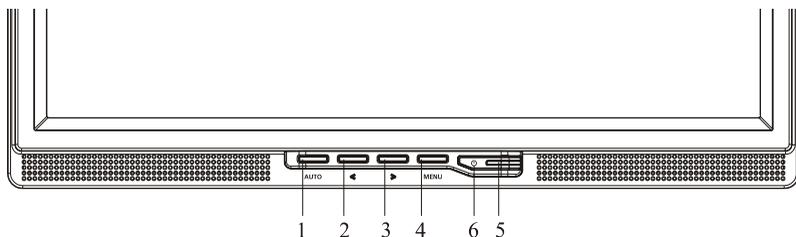


図 1-7

外部コントロール

1	Auto Config (自動設定) / 終了	4	MENU (メニュー) / 選択.
2	</音量	5	電源インジケータ
3	>/音量	6	⏻ / 電源ボタン

フロントパネルコントロール

⏻ / 電源ボタン:

このノブを押すとモニタの電源のオン/オフが切り替わり、モニタの状態を表示します。

電源インジケータ:

緑— 電源オンモード。
オレンジ— オフモード。

MENU (メニュー) /選.:

OSD がオフのときはアクティブ OSD メニュー、または OSD がオンのときはアクティブ/非アクティブ調整機能、またはボリューム調整 OSD 状態に入っているときは OSD を終了します。

</音量:

OSD がオフのときはボリュームコントロールを有効に(オーディオモデルのみのオプション)、または OSD がオンのときは調整アイコン間を移動、または機能が有効になっているときは機能を調整します。

>/音量:

OSD がオフのときはボリュームコントロールを有効に(オーディオモデルのみのオプション)、または OSD がオンのときは調整アイコン間を移動、または機能が有効になっているときは機能を調整します。

自動調整ボタン/ 終了:

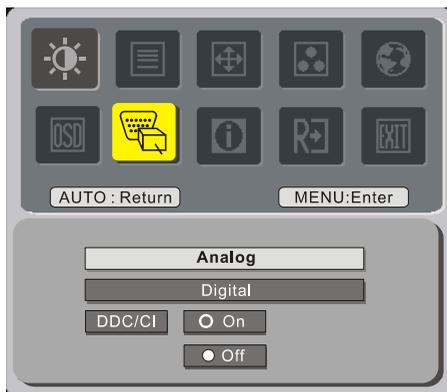
1. [OSD] メニューがアクティブ状態になっているとき、このボタンは EXIT-KEY として機能します。
([OSD の終了] メニュー)
2. [OSD] メニューがオフの状態になっているとき、このボタンを 2 秒以上押すと自動調整機能がアクティブになります。自動調整機能は、HPos (水平位置)、VPos (垂直位置)、Clock (クロック) および Focus (焦点) を設定するために使用されます。

注:

- ・ ラジエータやエアダクトなどの熱源のそば、または直射日光にさらされる場所、ほこりの多いところ、機械の振動や電気の波動がある場所にモニタを据え付けしないでください。
- ・ モニタを送り返すときに必要となる場合があるので、製品を梱包していた箱と梱包材料は捨てずに保管しておいてください。
- ・ 製品を最大限に保護するには、工場で最初に梱包されたのと同じように梱包しなおしてください。
- ・ モニタがいつまでも新品に見えるようにするには、柔らかい布で定期的に拭いてください。キャビネットの頑固な汚れは、弱い洗剤で軽く湿らせた布で取り除くことができます。シンナー、ベンジン、研磨剤などの強い溶剤はキャビネットを損傷することがあるので、絶対に使用しないでください。安全上の注意事項として、クリーニングする前には常にモニタのプラグを抜いてください。(但しパネルは絶対に拭かないでください)

設定の調整方法

1. [メニュー] ボタンを押して、OSD ウィンドウをアクティブにします。
2. < または > を押して、希望する機能を選択します。
3. [メニュー] ボタンを押して、調整したい機能を選択します。
4. < または > を押して、現在の機能の設定を変更します。
5. 終了して保存するには、終了機能を選択するか、他の機能も調整したい場合、同様に手順 2~4 を繰り返してください。



(オプション)

画像の調整

機能コントロール LED の説明

メインメニューアイコン	サブメニューアイコン	サブメニューアイテム	説明
		コントラスト	画像のコントラストを調整します。
		輝度	画像の明るさを調整します。
		フェーズ	写真の焦点を調整します。
		クロック	写真クロックを調整します。
		水平位置	写真の焦点を調整します。
		垂直位置	写真クロックを調整します。

	該当なし	暖色	色温度を暖い白に設定します。
	該当なし	寒色	色温度を冷たい白に設定します。
	R	ユーザー設定/赤	Adjusts 赤/緑/青の強度を著精します。
	G	ユーザー設定/緑	
B	ユーザー設定/青		
	該当なし	English	多言語の選択。
	該当なし	Deutsch	
	該当なし	Français	
	該当なし	Español	
	該当なし	Italiano	
	該当なし	繁體中文 又は Русский	
	該当なし	簡体中文 又は Hollands	
該当なし	日本語 又は Suomalainen		
		水平位置	OSDの水平位置を調整します。
		垂直位置	OSDの垂直位置を調整します。
		OSD表示時間設	OSDタイムアウトを調整します。
	該当なし	ソース変更	アナログおよびデジタルソース変更。 (オプション)
	該当なし	DDC/CI	DDC/CI サポートをオン/オフにします。
	該当なし	情報	解像度、水平/垂直周波数、現在の入力タイミングの入力ポートを表示します。
	該当なし	リセット	自動設定のそれぞれの古いステータスをクリアし、色温度を寒色に設定します。
	該当なし	終了	ユーザー調整を保存し、OSDは表示されなくなります。

第3章 技術詳細

仕様

LCDパネル

サイズ	17" (43 cm)
ディスプレイタイプ	アクティブマトリックスカラー TFT LCD
最大表示解像度	1280 x 1024
ディスプレイドット	1280 x (RGB) x 1024
ディスプレイ範囲(mm)	337.92 x 270.336 (H x V)
ディスプレイカラー	16.2M
明るさ	300 cd/m ² (標準)
コントラスト比	800: 1 (標準)
レスポンス時間	5 ms (標準)
ランプ電圧	655 Vrms (標準)
ランプ電流	7 mA rms. (標準)
視野角	垂直: 160° 水平: 160°

ビデオ

入力シグナル	アナログRGB 0.7Vp-p / デジタルTMDS
入力インターフェース	75 Ohm ± 2%
極性	正
振幅	0 - 0.7 ± 0.05 Vp
走査周波数	水平周波数: 24~80 KHz 垂直周波数: 49~75 Hz

オーディオ(オプション)

入力シグナル	500mVrms
オーディオ電源出力	1Wrms + 1Wrms 最高

標準コントロール

電源スイッチ	LEDインジケータとオン/オフスイッチ
--------	---------------------

OSD

明るさ	デジタル
コントラスト	デジタル
水平位置	デジタル
垂直位置	デジタル
フェーズ	デジタル
クロック	デジタル
ディスプレイモード設定	設定はEEPROMを使ってメモリに保存

パワーマネージメント

モード	消費電力*	AC入力	LEDカラー
オン	最大40W	240 VAC	緑
オフ	最大2W	240 VAC	黄色
ソフトスイッチオフ	最大1W	240 VAC	暗い
接続しない	最大2W	240 VAC	黄色：スタンバイ、サスペンド、オフ なし：DC電源オフ

* AC入力およびACアダプタからの測定でVESA DPMSの要件を満たしています。

同時期入力

シグナル 別々にTTL対応の水平および垂直同時期
極性 正および負

プラグ&プレイ

VESA DDC2B機能対応

外部接続

電源入力 (AC入力) ACソケット
D-SUBケーブル 15ピンD-subコネクタ付
デジタルケーブル 24ピン DVI コネクタ付 (オプション)
オーディオケーブル ステレオジャック付

環境

操作環境:

温度 5°C~40°C/41° F~104° F
湿度 20%~80% (非濃縮)

保管環境:

温度 -20°C~60°C/-4° F~140° F
湿度 5%~85% (非濃縮)

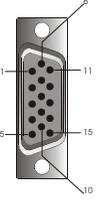
電源 (ACアダプタ)

入力電圧 シングルフェース、100~240VAC、50 / 60 Hz
入力電流 1.2 A(最大)

寸法

サイズ 377(W) x 393(H) x 182(D) mm
重量 (正味) 4 ± 0.5 kg
重量 (全体) 6 ± 0.5 kg

ピンの割り当て

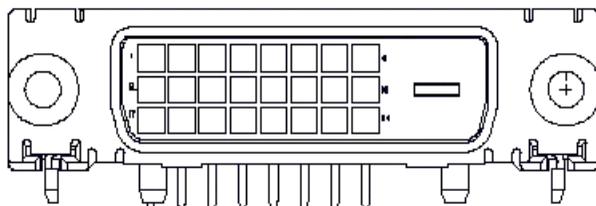
		シグナル			
		ピン	詳細	ピン	詳細
1	赤	6	赤 Rtn	11	NC
2	緑	7	緑 Rtn	12	SDA
3	青	8	青 Rtn	13	水平同時期
4	デジタル GND	9	+5V	14	垂直同時期
5	デジタル GND	10	ホットプラグ検出	15	SCL

デジタルビデオ入力コネクタ : DVI - D (オプション)

DVI-D コネクタのピン - 割り当て :

1	TX2-	9	TX1-	17	TX0-
2	TX2+	10	TX1+	18	TX0+
3	シールド (TX2 / TX4)	11	シールド (TX1 / TX3)	19	シールド (TX0 / TX5)
4	NC	12	NC	20	NC
5	NC	13	NC	21	NC
6	DDC-シリアルクロック	14	+5V 電源 *	22	シールド (TXC)
7	DDC-シリアルデータ	15	アース (+5V)	23	TXC+
8	NC	16	ホットプラグ欠陥	24	TXC-

DVI-D コネクタのピンの割り当て (オプション) :



標準的なタイミング表

選択したタイミングが以下の表に含まれていない場合、このLCDモニタは最適なタイミングを使用します。

タイミング	FH (KHz) FV (Hz)	SYNC 極性	合計 (ドット/ 行)	アクティブ (ドット/ 行)	SYNC 幅 (ドット/行)	フロント ポーチ (ドット/行)	バック ポーチ (ドット/行)	画素 周波数 (MHz)
640x350	31.469	+	800	640	96	16	48	25.175
VGA-350	70.087	-	449	350	2	37	60	
640x400	24.83	-	848	640	64	64	80	21.05
NEC PC9801	56.42	-	440	400	8	7	25	
640x400	31.469	-	800	640	96	16	48	25.175
VGA-GRAPH	70.087	+	449	400	2	12	35	
640x400	31.5	-	800	640	64	16	80	25.197
NEC PC9821	70.15	-	449	400	2	13	34	
640x480	31.469	-	800	640	96	16	48	25.175
VESA-PAL	50.030	-	629	480	2	62	85	
640x480	31.469	-	800	640	96	16	48	25.175
VGA-480	59.94	-	525	480	2	10	33	
640x480	35.00	-	864	640	64	64	96	30.24
APPLE MAC-480	66.67	-	525	480	3	3	39	
640x480	37.861	-	832	640	40	16	120	31.5
VESA-480-72Hz	72.809	-	520	480	3	1	20	
640x480	37.5	-	840	640	64	16	120	31.5
VESA-480-75Hz	75	-	500	480	3	1	16	
720x400	31.469	-	900	720	108	18	54	28.322
VGA-400-TEXT	70.087	+	449	400	2	12	35	
832x624 APPLE	49.725	-	1152	832	64	32	224	57.2832
MAC-800	74.55	-	667	624	3	1	39	
800x600	35.156	+	1024	800	72	24	128	36
SVGA	56.25	+	625	600	2	1	22	
800x600	37.879	+	1056	800	128	40	88	40
VESA-600-60Hz	60.317	+	628	600	4	1	23	
800x600	48.077	+	1040	800	120	56	64	50
VESA-600-72Hz	72.188	+	666	600	6	37	23	

タイミング	FH (KHZ) FV (HZ)	SYNC 極性	合計 (ドット/ 行)	アクティブ (ドット/ 行)	SYNC 幅 (ドット/行)	フロント ポーチ (ドット/行)	バック ポーチ (ドット/行)	画素
800x600	46.875	+	1056	800	80	16	160	49.5
VESA-600-75Hz	75	+	625	600	3	1	21	
1024x768	48.363	-	1344	1024	136	24	160	65
XGA	60.004	-	806	768	6	3	29	
1024x768	53.964	+	1328	1024	176	16	112	71.664
COMPAQ-XGA	66.132	+	816	768	4	8	36	
1024x768	56.476	-	1328	1024	136	24	144	75
VESA-768-70Hz	70.069	-	806	768	6	3	29	
1024x768	60.023	+	1312	1024	96	16	176	78.75
VESA-768-75Hz	75.029	+	800	768	3	1	28	
1024x768	60.24	-	1328	1024	96	32	176	80
APPLE MAC-768	75.02	-	803	768	3	3	29	
1152x864	54.054	+	1480	1152	96	40	192	80
(60Hz)	59.270	+	912	864	3	13	32	
1152x864	63.851	+	1480	1152	96	32	200	94.499
(70Hz)	70.012	+	912	864	3	1	44	
1152x864	67.50	+	1600	1152	128	64	256	108.00
(75Hz)	75.00	+	900	864	2	2	32	
1280x960	60.00	+	1800	1280	112	96	312	108.00
(60Hz)	60.00	+	1000	960	3	1	36	
1280x960	70.00	+	1800	1280	112	96	312	126.00
(70Hz)	70.00	+	1000	960	3	1	36	
1280x960	75.00	+	1800	1280	112	96	312	135.00
(75Hz)	75.00	+	1000	960	3	1	36	
1280x1024VESA-	64	+	1688	1280	112	48	248	108
1024-60Hz	60	+	1066	1024	3	1	38	
1280x1024VESA-	80	+	1688	1280	144	16	248	135
1024-75Hz	75	+	1066	1024	3	1	38	

注：モード640x350、640x400、720x400は中央の位置に置かれますが、垂直方向にフル画面に拡張することはできません。

トラブルシューティング

このLCDモニターには工場出荷時に設定されたVGAタイミングがあります。市販されているVGAカードには様々な出力タイミングがあるため、モニターを使い始めてから、新しいディスプレイモードやVGAカードを選択するたびに、画面が不安定になることが考えられます。

注意

このLCDモニターは複数のVGAモードに対応しています。

LCDモニターの対応できるモードについては、標準的なタイミング表をご覧ください。

問題 画面がはっきり表示されない、または不安定です。

画面が不安定な場合は、次の要領で調整してください。

1. MS-Windows起動中に、PCを“Windowsの終了”の状態にしてください。
2. 画面に縦の線が入っていないかどうかを確認してください。縦の線が確認された場合、OSDメニューで“クロック”機能を選択し、縦の線が消えるまで、クロック値を増加または減少させて調整してください。
3. OSDメニューで“フェーズ”機能へ進み、ディスプレイがよりはっきりと表示されるまで調整してください。
4. “Windowsの終了”で“キャンセル”をクリックし、正常の状態に戻してください。

問題 LCDモニターにイメージが表示されません。

LCDモニターにイメージが何も表示されない場合は、次の要領で修正してください。

1. LCDモニターの電源インジケータはオンになっていますか？また、システムは正しいタイミングで起動していますか？第3章のタイミング表をご覧ください。
2. LCDモニターの電源を切り、再度電源を入れてください。それでもイメージが表示されない場合は、調整コントロールボタンを何度か押してください。
3. ステップ2でも作動しない場合は、PCシステムを他のCRTに接続してみてください。他のCRTモニターに接続したときに、システムが正常に作動し、LCDも似たでは正しく作動しない場合、VGAカードの出力タイミングがLCD同時期範囲外にあると考えられます。標準的なタイミング表に掲載されているモードに変更するか、またはVGAカードをお取り換えになり、ステップ1と2を繰り返してください。

問題 LCDモニターにイメージが表示されません。

LCDモニターの同時期範囲外の出力タイミング(水平: 24~80 KHz、垂直: 49~75 Hz)を選択すると、OSDディスプレイは” Out of range” のメッセージを表示します。必ずLCDモニターが対応できるモードを選択してください。

また、シグナルケーブルがLCDモニターに全く接続されていない場合、モニター画面には” No input signal” のメッセージが表示されます。